

関西支部 LMAG 第 6 回現地技術講演会記録

2015/6/3

(IEEE Kansai Section 第 86 回 技術講演会に連携)

講演会の概要

<http://www.ieee-jp.org/section/kansai/organization/lmag/lmaglecture06.html>

を参照。IEEE マイルストーン受賞記念イベントの一環として開催した。

場所

京都大学生存圏研究所信楽 MU 観測所

〒529-1812 滋賀県甲賀郡信楽町神山

TEL:0748-82-3211

FAX:0748-82-3217

<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/mu/access.html>

参加者

13 名 (うち IEEE 会員・LMAG 6 名/LMAG 以外 4 名)

講演者

MU レーダー — 設立の歴史から最新の観測成果、およびマイルストーン受賞まで —
— レーダーで大気を診る —

京都大学生存圏研究所 中核研究部 レーダー大気圏科学分野
山本 衛 教授

講演概要

MU レーダーの設立から今日までの足跡を赤道レーダーの構築も交えて話していただいた。その壮大な構想にあらためて感心させられた。

見学

2 階の管制室からレーダー全体を一望した後、レーダーのアンテナ素子群のフィールドと送受信モジュール群の見学を行った。8 BIT マイコン時代の制御装置が現在も現役で動作していることについて、その初期品質と継続的な維持運用姿勢に、見学者一同が驚嘆の声をあげていた。

写真



MUレーダーの説明をされる山本教授



レーダーのアンテナ素子群を背に集合写真



長年動作し続けている送受信モジュール群



信楽の狸と共に



IEEE マイルストーン受賞記念の盾

以上